

## 2 新潟市の教育を取り巻く状況

### (1) 新潟市の強み

#### ① さまざまな困難を乗り越える力

本市は、その歴史において、毎年のように襲ってくる自然災害の経験から、土地や作物の改良を重ね、日本有数の米どころとして発展してきました。

昭和30（1955）年の新潟大火や昭和39（1964）年の新潟地震など度重なる災害に見舞われる状況においても工業地帯や交通網の整備を進め、復興を遂げてきました。中でも、複合災害（コンビナート火災、津波、液状化現象）となった新潟地震では、甚大な被害があり、学校校舎の崩壊など枚挙にいとまがない中で、市内の児童生徒の大半が在校中であったにもかかわらず、死者、行方不明者がなかったことは、教職員の献身的な働きによるものと全国から称賛が寄せられました。

令和6（2024）年の能登半島地震では、本市においても多くの教育施設に被害があったものの、地域とともに復興に向けた様々な取組を進めています。

この他、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行下により、日本においても令和2（2020）年4月に緊急事態宣言が発令され、以降も感染拡大期が繰り返し発生したことで、市民の生活や社会経済活動など様々な面で影響を与えました。

そのような中、感染症拡大防止により、人との接触が制限されたことから、会合のオンライン開催を進めるためのICT環境の整備など、様々な分野でデジタル化が加速しました。

学校においては、児童生徒の学習環境を確保するため、学習用端末（タブレット）の整備や、オンライン授業などICT環境の整備を行いました。また、家庭でのオンライン学習を推進するため、学習用端末（タブレット）の持ち帰りを全国でいち早く実施しました。このように、GIGAスクール構想については、政令市の中でも先進的に取組を進めてきました。

さらに、市立図書館では、令和4（2022）年3月に非来館型の読書サービスである電子書籍の提供を開始するなど、感染症対策を図るとともにデジタル化による利便性を高めることで、生涯学習の推進にもつながりました。



## ② 充実した地域の力

本市では、共助・協働の理念に基づき、市民が持続可能な地域づくりに主体的に参画できるよう、地域の独自性や地域コミュニティの自立性を尊重した住民自治を推進しています。

また、住民自治の礎である自治会・町内会をはじめ、多様な団体で構成される地域コミュニティ協議会などの活動を支援するとともに、それらの団体と行政を結ぶ協働の要として、全ての区に区自治協議会を設置しています。

さらに学校教育においても地域教育コーディネーターを全市立学校へ配置し、学校と地域や社会教育施設を結び、学校教育活動への地域人材の参画につなげるなど、学校と地域が連携・協働して子どもたちの学びと成長を支える体制づくりを進めています。

加えて、コミュニティ・スクールを令和4（2022）年度以降本格的に導入し、令和6（2024）年度からは、全ての市立幼稚園、小中学校、高等学校などで実施して、「地域とともにある学校」づくりを推進しています。

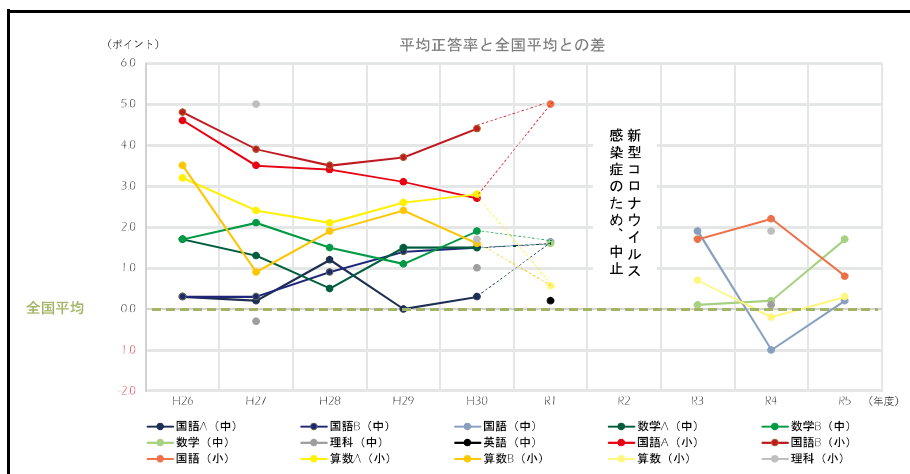




### ③ 人材輩出の下地

#### ● 全国平均を上回る小中学生の学力

本市の小中学生の学力は、全国学力・学習状況調査において、平成26（2014）年度以降、多くの項目で平均正答率が全国平均を上回っています。

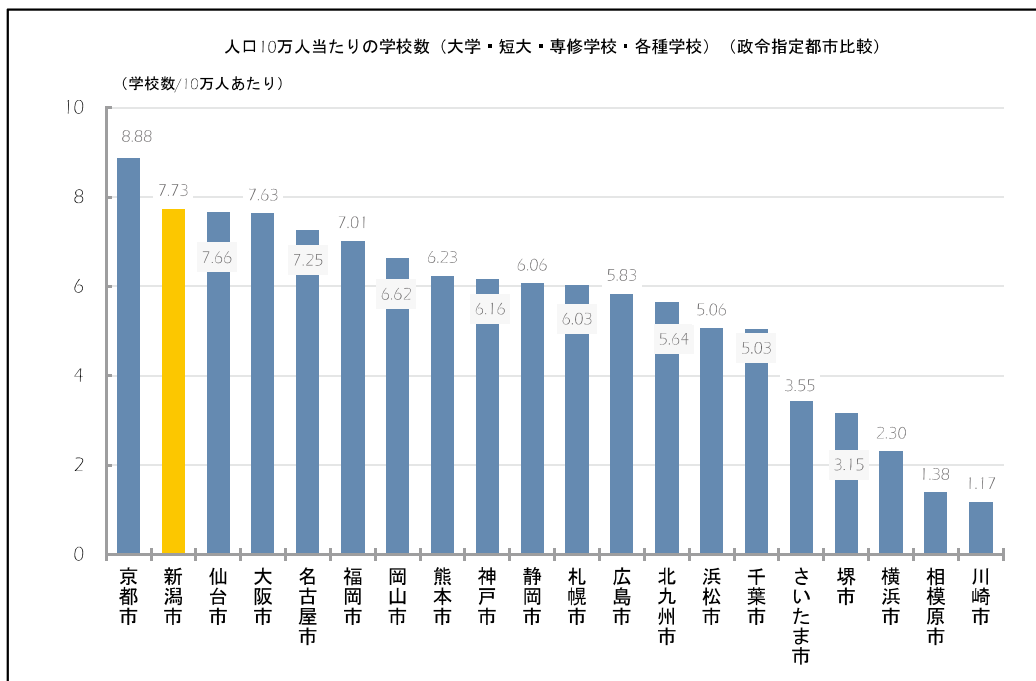


出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省）  
 注記：令和元年度から国語A・B、算数A・Bをそれぞれ国語、算数として実施している。  
 また、理科及び英語は毎年実施されていない。

## ● 高等教育機関の集積

高等教育の分野において、令和2（2020）年の人口10万人当たりの学校数（大学・短大・専修学校・各種学校）は、京都市に次いで政令指定都市中第2位となっています。

高等教育機関においては、年間約1,000人の卒業生を輩出するIT系専門学校をはじめとして、市内全体では年間約12,000人ももの卒業生を輩出する、人材の宝庫と言えます。



出典：学校基本調査（令和2（2020）年：文部科学省）  
国勢調査（令和2（2020）年：総務省）

## ● みなとまち文化をはじめとする多種多様な文化

本市における「みなとまち文化」は、北前船の寄港地として繁栄した「みなと」と、舟運で結ばれた周辺部の経済的な発展によって育まれてきました。この「みなとまち文化」は、古町芸妓のほか、花街や料亭、豪農・豪商の旧邸をはじめとする歴史的な建造物や街並みに加え、各地に残る定期市や祭りなど、本市特有の魅力の一つとなっています。

また、地域の多様な文化に加え、著名な作家やクリエイターを多く輩出している「マンガ・アニメ文化」や、日本海側の鉄道輸送の要衝として重要な役割を担ってきた「鉄道文化」など、多種多様な文化を併せもっています。

## ● 地域から愛されるスポーツ

スポーツの分野においても、平成14（2002）年、サッカーのワールドカップが本市で開催されたことや、翌年に地域のプロスポーツチームがJ2リーグで優勝したことなどをきっかけに、市民のスポーツに対する意識や行動が大きく変化しました。

また、全国の調査において、体力テスト合計点が政令指定都市の中で上位にあるなど、基礎的な体力・運動能力が育まれる環境があります。

【体力テスト合計点（各種目の記録を点数化し、合計した点数）】

	小学校5年男子		小学校5年女子		中学校2年男子		中学校2年女子	
1	新潟市	53.74	新潟市	55.72	新潟市	43.92	千葉市	49.69
2	北九州市	53.38	北九州市	55.18	北九州市	43.46	新潟市	49.35
3	千葉市	53.32	千葉市	54.63	千葉市	42.65	浜松市	49.15
4	熊本市	52.90	熊本市	54.52	仙台市	42.11	静岡市	49.11
5	京都市	52.86	静岡市	54.30	浜松市	42.04	北九州市	48.65
6	福岡市	52.82	浜松市	54.09	静岡市	41.91	さいたま市	47.01
7	神戸市	52.69	さいたま市	53.82	熊本市	41.16	大阪市	46.99
8	仙台市	52.56	京都市	53.75	広島市	41.05	熊本市	46.53
9	静岡市	52.35	仙台市	53.74	京都市	40.87	京都市	46.47
10	さいたま市	52.10	神戸市	53.39	大阪市	40.79	広島市	46.25

出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（令和5（2023）年度：文部科学省）

## ● こどもの豊かな読書環境づくり

本市では、平成22（2010）年の「新潟市子ども読書活動推進計画」を策定し、ブックスタート事業による保護者への働きかけや、特別支援学校を含めた市立学校全校への学校司書の配置、学校図書館支援センターの設置など、こどもたちの豊かな読書環境を整えてきました。

【小中学校の学校図書館環境の整備状況】

	学校司書配置		図書標準達成	
	全国平均	新潟市	全国平均	新潟市
小学校	69.1%	100%	71.2%	100%
中学校	65.9%	100%	61.1%	100%

出典：全国平均は「学校図書館の現状に関する調査（令和2（2020）年度：文部科学省）」による

## ● 都市と田園の調和

本市は、肥沃な土壌と豊かな水資源の恩恵により、米の産出額、田耕地面積ともに全国1位を誇る日本最大の米どころであり、さらには野菜、果樹、花き、畜産物などの多様な農産物が生産される大農業都市です。

都市と田園が近接し、調和している田園型政令市新潟の特徴をいかし、独自の農業体験学習プログラムである「アグリ・スタディ・プログラム」をはじめとした農業体験学習を市内全小学校で実施しています。こどもたちは、これらの体験的な学習を通して、農業や食に対する理解を深めたり、市や地域への誇りや愛着を育んだりしています。

